



# めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2019・12・5

学校だより

## 12月号

ヨハネスブルグ日本人学校

## 2学期も大詰め！！

今年のカレンダーも残り1枚となりました。保護者の皆様、関係者の皆様、お元気でお過ごしのことと拝察致します。

さて、学校におきましては、8月12日(月)に開始した2学期も12月13日(金)をもって終了です。そして、夏休みに入ります。2学期は日頃の学びに加え、大きな行事(運動会、学習発表会)に取り組みたくさんの経験を積み重ねてきました。特に心をつにして臨んだ運動会では、規律ある集団行動、気力の限り頑張る姿などを保護者の皆様に見せられたことは大きな自信になったものと考えます。また、学習発表会では、みんなの前で、自分に与えられたせりふで堂々と演じることができたことなど、学年の発達段階に応じた自信を持つことができたのではないかと思います。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。



## ランチタイムでお母さんの手作りカレー類張る！！

11月22日(金)は、子供たちにとっても教職員にとっても待ち遠しい日でした。それは、PTA役員の方々がランチタイムでカレーを作ってくださいの日だったからです。当日は、朝から家庭科室からいい匂いが漂い、なんとなく落ち着かない時間が過ぎてゆきました。そして、いよいよランチタイム、子供たちも教職員も現地スタッフも笑顔いっぱいでのランチタイムになりました。なお、デザートにフルーツポンチとオレオがつく豪華給食でした。

この「楽しい給食」は7月12日の終業式にも実施され、今年度2回目の実施でした。PTA役員の皆様、本当にありがとうございました。



## JICA(青年海外協力隊員)との交流会

11月29日(金)は、この時期恒例になっております海外青年協力隊の方々との交流会でした。今回は南ア各地に派遣されている協力隊員に加え、隣国のエスワティニ(スワジランド)とレソトの協力隊員にも参加して頂き、合計9名の隊員との交流になりました。JSJの子供たちを3グループに分け、それぞれに3名の隊員が入って頂き、赴任地の生活の様子や子供たちの様子をプレゼンテーションを通して説明頂き、普段接することのない南アの文化に触れることができました。貴重な時間を提供頂いた青年海外協力隊の皆さん、本当にありがとうございました。



### <校長室からひとりとご>

### 夏に遊ぶ、子供たちに自然体験を！！

いよいよ夏休み。各家庭では、一時帰国、バカンスと色々な計画があたりかと拝察いたします。充実した夏休みになることを祈念しております。さて、冬休み前の小欄では、長期休業中に保護者の得意技を子供たちに伝授下さい旨の文面を載せましたが、今回は夏休み。ぜひ子供たちに自然体験をさせてほしいなと思っています。ヨハネスに住んでいる環境では、なかなか自然体験は難しいところですが、公園での木登り、虫取り等、一時帰国や避暑地に行かれた時には、山海川等で自然と触れ合う体験を計画してはいかがでしょうか。子供たちにとって、自然体験で得る知識は生きた知識となり、これからの成長の上で応用力、対応力など生きる力につながると考えております。

小生の場合は、実家の裏が大川だったため、夏休み、川は友達でした。時間があれば、チョス(金突き)と水中眼鏡を持って大川へ。準備運動もそこそこのヨモギをむしり、手のひらで揉んだ汁を水中眼鏡に垂らし、ガラスを磨き、曇りを取る。次に顔を水で濡らし、おもむろに水中眼鏡をかけ、水中へ。浅瀬では、体を流れに任せ石の上を滑る感じで下っていく。深みでは、耳が痛くなるほど潜り、静寂な川底に悠々と泳ぐコイ、ウグイ、ナマズ等を見ては胸が高鳴ったものだ。夕方近くなると、決まって夕立が来て、激しく雨粒に背中を叩かれるので、水中に潜ったり、橋の下に避難したりしたものだ。盆近くに川に行こうとすると、祖母から「盆は魚を突くものではない。」とたしなめられた。そんな場面が次から次に浮かんでくる。川はまさに友達だった。そして、多くの事を教えてくれた先生だった。現代は、残念ながら自然が友達とは言い難いが、ちょっと仲間に入れさせてもらえたらと思う次第です。